

えびはら直矢市政報告

発行人 海老原直矢

〒362-0026 上尾市原市北一丁目14番地9 TEL. 048-716-7323
E-mail. ebihara116@gmail.com <https://www.ebihara-naoya.com/>



2026年第2号
2026.2.22



利便性の高い公共施設に 地域拠点への集約化と魅力的な複合化

「コンパクト・プラス・ネットワーク」に沿った都市計画の推進

令和8年3月定例会が2月20日に開会しました。令和8年度一般会計予算など今後の上尾市のあり方を決める重要な議案について、1か月以上をかけて審査していきます。

今定例会では、これまでも質問を繰り返し行ってきた公共施設のあり方について改めて質問をしていきたいと思ひます。

上尾市では、まちづくりの分野で最も基本となる計画である『上尾市都市計画マスタープラン 2020』を策定し、その中で、各エリアの拠点となる場所を「地域拠点」と定めて機能を徐々に集めていき、その拠点同士を公共交通でつなぐ「コンパクト・プラス・ネットワーク」を今後のまちづくりのあり方として示しています。

この考え方に則れば、公共施設は今の各支所や公民館を中心とした「地域拠点」に集約し、エリアの市民の方々がその地域拠点に行きやすいように公共交通を整えていくことが求められます。しかし、直近の施設整備の計画でもその方針が採用されているとは言えず、これではいつまで経っても計画は実行に移されません。

高齢化や将来的な郊外の人口減の見込みなどを踏まえれば早期に計画に手をつけていくことが不可欠です。今回の一般質問で少しでもその歩みを進められるよう、市に対して有効な施策を提案していきたいと思ひます。



子ども関連施設が集まったさいたま市の「あいぱれっと」

主な質問事項

① 労働施策

業務委託におけるインフレスライド
スライド制度の明文化、価格変動に対する事業者の意見
介護人材の確保・定着促進
働く方からの意見聴取、補助金制度、身体の負担軽減
新たな産業人材の確保
職業相談・補助金の再構築、高校の特色化、産官学連携

② ジェンダー施策

男女共同参画推進センター
市の臨時職員や資格取得のための事業の情報提供
施策への当事者意見の反映
施設整備における女性の意見の反映、審議会の男女比率

③ まちづくりのランドデザイン

コンパクト・プラス・ネットワーク
公共施設の集約化、複合化による余剰地の活用
ゼロカーボン施策・自然共生サイト
国の交付金の活用、一体的な計画策定、人材・予算確保
アーバンデザインセンター
大学との連携、各エリアごとのまちづくり施策

一般質問は3月12日(木) 午前9時30分より行います。

傍聴にお越しください。また、インターネット中継でもご覧いただけます。

(<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/ageo/WebView/rd/council.html>)



市民の声を形に

令和8年3月定例会一般質問

質問予定

①労働施策、②ジェンダー施策、③まちづくりのグランドデザイン

今回の一般質問では、「まちづくりのグランドデザイン」として、上尾市が進めるゼロカーボンや自然共生サイトといった施策について、**大学や民間企業と連携をして政策効果を最大化**するための体制づくりの必要性について質問をする予定です。これまで中央区などの事例をもとに調査をしてきた内容を踏まえて、人材や予算の確保を含めて提案をしていきたいと思ひます。

東京スクエアガーデンにおける『京橋環境ステーション』の取り組み



エリアエネルギー マネジメントセンター

省エネ診断やエネルギー関連の補助金申請のサポートをするるとともに省エネを軸としたさまざまなイベントを開催している。



シティラボ東京

持続可能なまちづくりのためのビジネス創出に向けたプラットフォーム」で、新進気鋭の企業や意欲的な自治体などがメンバー。

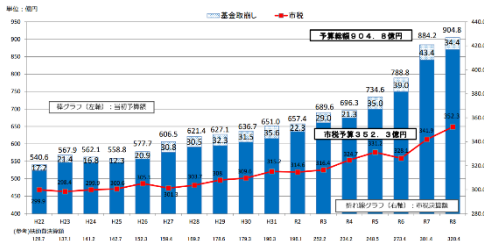
令和8年3月定例会議案

<5号>令和8年度上尾市一般会計予算

今定例会に提案されている議案についてご説明します。



令和8年度予算額
904億8千万円



主な事業

事業名	予算額
学校施設更新計画の推進	17億4,681万円
図書館仮本館(まるひろ上尾 SC 内)に整備	8億9,680万円
民間スイミングスクールを活用した水泳授業の推進	1億1,104万円
民間学童への補助金創設	2,898万円
プラザ館に「ルームここから」駅前サテライトを設置	1,374万円
高齢者補聴器購入費を助成	400万円
「朝の小1の壁」の解消に向けたモデル事業を実施	129万円

えびはら直矢プロフィール

昭和62年12月3日生まれ。
 ●上智大学法学部卒
 ●首都大学東京社会人類学教室修了。
 国連 UNHCR 協会職員などを経て、
 衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、子どもたちの放課後を考える団体や演劇教育を推進する団体など複数の団体の運営に携わってきた。2017年、上尾市議会議員に当選(現在3期目)。議会運営委員会副委員長、都市整備消防常任委員会委員、環境審議会委員など。家族:妻、長男(10才)、長女(9才)、次男(7才)

市政へのご意見やお困りごとがございましたらお気軽にご連絡ください →FAX 048-677-1676

お名前

ご連絡先

ご意見やお困りごとなど